

# サポートRST



## 各校の真摯な取組によって成果が上がっています

第2学期が始まりました。1年間のRSTの事業計画に基づいて第1学期の活動を振り返り、新たな取組や研究内容を工夫する時期となります。繰り返しになりますが、一気に成果を求めるのではなく、一歩ずつ前に進んでいくことが大切です。

11月26日（金）には、中村第一中学校、中村第一小学校を会場として研究協力校の本年度の合同研究発表会（授業研究会）が実施されます。午後からの半日の発表会となりますが、各校での実践の参考になるような研究発表会を目指しています。

令和2年度「RST教員研修会」アンケートと令和3年度「RSTの取組についてのアンケート」を比較してみました。課題解決の視点からの簡単なものですが、各校で工夫・改善して取り組んでいることがわかります。相馬市全体でも計画的に取り組んでいきたいと思えます。



令和2年度「RST教員研修会」アンケートから〈12月～2月実施〉〈課題のみ（一部抜粋）〉

- 1 親和性（親密度）の低い言葉
- 2 キーワード読み
- 3 辞書の活用
- 4 視写や音読
- 5 読みの体力
- 6 適当に解答したと思われる児童・生徒
- 7 教師の教科書の読み込み
- 8 リーディングスキルタイムや朝の活動、朝自習
- 9 中学校との連携

令和3年度「RSTの取組についてのアンケート」から〈7月実施〉〈各校の改善策（一部のみ抜粋）〉

- 授業づくりワークシートの活用、同じ意味の言葉探し
- 指示語、主述関係の意識付け教科書へのライン引き
- 辞書引きの日常化
- 共書き、視写の相互点検視写タイム
- コラムシートの取組難易度の高い問題への意欲付け
- RSTの視点を取り入れた授業の日常化と読みの意欲向上
- 教材文とグラフ・写真の照合、言葉や表現にこだわった発問や説明
- テーマ作文、教科書の視写コラム要約の答え合わせ
- 視写の取組